

令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

中津川市青少年健全育成推進市民会議

■ 「子育て親育ちシンポジウム」の実践 ■

1 テーマ 「守ろう子どもたちの笑顔」

当市民会議では、第4回子育て親育ちシンポジウムを「守ろう！子どもたちの笑顔」をテーマとして11月30日（日）に開催した。この大会は、従前中津川市PTA連合会がおこなってきた研修大会と、青少年健全育成推進市民会議が行ってきた育成大会を一つにまとめ、中津川市全体として生き生きと笑顔で過ごせる子どもたちの姿を願い、子育てについて共通理解を深め、PTCAとして家庭・学校・地域社会が一体となり、地域ぐるみの子どもたちの健全育成を推進することを主旨として開催している。

会場：中津川市苗木交流センター 参加者数：125名

2 講演 講師：安田和夫教授（岐阜聖徳学園大学教育学部）

「多様性社会を生きる子どもたちに託す願い～身近な大人にできる5つの提案～」と題して、聴衆参加のいくつかのワークを挟み和やかな雰囲気での講話をいただいた。講話の中ではご自身の家族の発達障害のことも含め多様性を尊重する姿勢の大切さと、そのために私たち大人がどんなことができるのかについて具体的な提示があった。参加者からは、「小中の保護者はもちろんですが、幼児の保護者にこそ人の育ちという面からもぜひ聞いてほしいと感じる講話だった。（教師）」「今、親が自分の都合だけで子育てされているのを見ると今日の話が大事に思えます。（社会教育委員）」「一方的に話を聞くだけでなく、周りの方と活動したり実際に経験したりしてとても良かった。改めて子どもとのかかわりについて学びました。（保護者）」といった感想が寄せられ、好評だった。



ワークをしながら講話を聴く参加者

3 トークセッション

昨年までのステージ上でのパネルディスカッション会式を取りやめ、参加者全員参加の小グループによる意見交換の形式とした。

「子どもたちの笑顔を守るために」をテーマに、それぞれの立場でどんなことができるのか交流した。参加者からは、「普段なかなかお話しできない地域の方と交流が持ててよい機会となった。また参加したい。（保護者）」「宣言した誓い『私は子供の目を見て、たくさん話を聞きたいです』を日々心掛けたいと思います。（教師）」「前半の講演もあり、『話の聞き方』という点で特に意識して取り組みました。いろいろな話ができ楽しかった。（青少年関係者）」など、充実した交流ができたという感想が多かった。

4 まとめとして

年に1度、このシンポジウムのような機会を作り、親や教師をふくめた地域社会のいろいろな立場の大人が、いったん立ち止まって日頃の活動の意味やその値打ちを確かめ、互いの良さを認め合うことは大変意味のあることだ。今後も地域の皆で力を合わせてこの地域に住む子どもたちの背中をそっと押しあげることができるような地域の人づくりに寄与していきたい。

なお、「子育て親育ちシンポジウム」の当日の様子については動画に記録しYouTubeにより配信して、当日参加できなかった保護者や市民が視聴できるようにしている。